

# 飯尾川の氾濫は下流に堰があるから…

台風や大雨で飯尾川が氾濫したら

## 市役所・消防本部の周辺道路が冠水

吉野川市は鴨島町の市役所本庁に本年より統合しました。また昨年4月より消防本部が市役所の東隣に新築移転しています。しかし、市役所のすぐ南側には県内でもっとも洪水被害をおこす飯尾川があります。

飯尾川がひとたび氾濫すると市役所と消防本部への進入道路が水に浸かります。豪雨災害が発生した時、市や消防本部は市民の安全を守るために働けるのでしょうか？

## 麻名用水堰の撤去一刻も早く

吉野川市から石井町を経て徳島市へと流れる飯尾川には「麻名用水堰」「石井町高原」があり、流れの阻害要因となり鴨島町などで度々浸水被害が起きています。

麻名用水堰は1914年に石積みで建造されてお

り、稲作などで水が必要な5月〜9月には、約35メートルの川幅を約6メートルに狭めた通水門に板をはめて用水に水を導いています。しかし川を大きくせき止めているため、

上流域に度々浸水被害をもたらしてきました。飯尾川は徳島県が管理する延長約26キロの一級河川で大雨時や台風時には氾濫しやすく鴨島町では床上・床下浸水はもとより、水死者まで出る被害がありました。

飯尾川の氾濫は合併前の鴨島町議会でも度々問題とされ、氾濫の大きな要因である麻名用水堰の撤去が求められましたが実現せず、合併後の吉野川市でも議会で取り上げられていますが、解決への進展はありません。

飯尾川の氾濫で吉野川市役所の周辺道路や駐車場が水没したことも度々あります。今度氾濫すると市役所の東隣に移転した消防署への進入路も冠水します。そんなことになれば、市民の安全を守るところではないはずですが、何が何でも飯尾川の氾濫の要因となっている麻名用水堰の、一刻も早い撤去を徳島県に求めるべきです。

← 麻名用水堰 人の背丈ほどの水を堰き止めています。6月23日撮影



石井町高原にある「麻名用水堰」から飯尾川下流の周辺図

合併後に市役所周辺道路が冠水したのは三回

① 平成16年 10月20日	台風23号
② 平成21年 8月9日	台風9号
③ 平成23年 9月19日	台風15号



駐車場や道路が冠水した吉野川市役所23年9月21日の台風15号